

栗山町地球温暖化対策実行計画 年次報告書

平成 31（令和元年）実績

令和 3 年 7 月

栗 山 町

栗山町地球温暖化対策実行計画 年次報告

1 報告書作成の趣旨

栗山町の地球温暖化対策実行計画は、平成 30 年度に策定し、計画期間を平成 31（令和元）年度から令和 5 年度までの 5 年間としています。

計画では、国の地球温暖化対策計画の基準年度である平成 25 年度に対して、平成 42（令和 12）年度の段階で約 40%の削減を目指すことを基本的考え方とし、温室効果ガス排出量を 32%削減することを目標としました。

本報告書は、平成 31（令和元）年度の温室効果ガス排出量を基準年の平成 25 年度と比較し掲載しています。

◎温室効果ガス排出量削減目標（令和元年度）

排出量単位：kg-CO₂

	平成 25 年度 (基準年度)	令和元年度	増減量	増減率
排出量	3,426,882 ※3,427t-CO ₂	2,973,421 ※2,973t-CO ₂	△ 453,461 ※△ 453t-CO ₂	△ 13.2%

2 二酸化炭素の排出量

平成 31（令和元）年度に町の事務・事業に伴い排出された二酸化炭素の総排出量は 2,973,421 kg-CO₂で、基準年度の総排出量と比較して 453,460 kg-CO₂（13.2%）減少しました。燃料別の排出量及び構成割合は以下のとおりです。

◎燃料別の排出量

排出量単位：kg-CO₂

項目	エネルギー種別	平成 25 年度 (基準年度)		平成 31 (令和元) 年度		比較 当該年度-基準年度	
		エネルギー量	排出量	エネルギー量	排出量	排出量 増減量	増減率
施設	電気料	2,389,134	1,619,833	2,256,582	1,356,206	△263,627	△ 16.3%
	A重油	414,244	1,122,448	372,191	1,008,500	△113,948	△ 10.2%
	灯油	183,327	456,389	159,400	396,823	△ 59,566	△ 13.1%
	LPG	850	2,547	598	2,062	△ 485	△ 19.0%
	ガソリン	2,782	6,460	2,072	4,812	△ 1,648	△ 25.5%
	軽油	30,462	78,743	19,628	50,738	△ 28,005	△ 35.6%
公用車	ガソリン	31,495	73,121	31,450	73,016	△ 105	△ 0.1%
	軽油	26,051	67,341	31,437	81,264	13,923	20.7%
合計		—	3,426,882	—	2,973,421	△453,461	△ 13.2%

◎燃料別の構成割合

単位：％

項目	施設						公用車		合計
	電気料	A重油	灯油	LPG	ガソリン	軽油	ガソリン	軽油	
平成25年度	47.27	32.75	13.32	0.07	0.19	2.30	2.13	1.97	100.00
平成26年度	50.78	30.08	12.76	0.06	0.20	2.03	2.11	1.98	100.00
平成27年度	48.27	31.82	13.34	0.06	0.19	2.08	2.05	2.19	100.00
平成28年度	47.24	32.27	13.84	0.06	0.14	2.08	2.13	2.23	100.00
平成29年度	46.53	33.10	13.65	0.06	0.15	1.95	2.22	2.34	100.00
平成30年度	46.48	32.85	13.02	0.06	0.15	2.44	2.44	2.57	100.00
令和元年度	45.61	33.92	13.35	0.07	0.16	1.71	2.46	2.73	100.00

3 施設別の二酸化炭素の排出量

平成31（令和元）年度における本町の事務・事業に伴い排出された二酸化炭素の施設別総排出量は次のとおりです。

◎施設別の排出量

排出量単位：kg-CO₂

施設名	平成25年度	令和元年度	増減量	増減率
栗山町役場（新庁舎・旧庁舎）	312,531	240,016	△ 72,515	△ 23.20%
栗山小学校校舎	293,149	254,691	△ 38,458	△ 13.12%
栗山小学校体育館	21,677	23,303	1,626	7.50%
栗山中学校校舎	168,395	133,180	△ 35,215	△ 20.91%
栗山中学校体育館	62,635	37,312	△ 25,323	△ 40.43%
継立小学校校舎（体育館含む）	157,491	123,945	△ 33,546	△ 21.30%
角田小学校校舎（体育館含む）	128,448	120,950	△ 7,498	△ 5.84%
介護福祉学校校舎（講堂含む）	66,468	71,766	5,298	7.97%
給食センター（注1）	272,972	230,005	△ 42,967	△ 15.74%
総合福祉センター（あさひ工房含む）	142,836	142,570	△ 266	△ 0.19%
資源リサイクルセンター（エコソイルセンター、中間処理施設含む）	535,815	381,604	△ 154,211	△ 28.78%
いきいき交流プラザ	11,770	10,304	△ 1,466	△ 12.46%
スポーツセンター	242,290	241,472	△ 818	△ 0.34%
日出生活館	4,121	3,470	△ 651	△ 15.80%
南部公民館	94,361	66,854	△ 27,507	△ 29.15%
角田農村環境改善センター	66,962	57,170	△ 9,792	△ 14.62%
勤労者福祉センター	34,475	30,182	△ 4,293	△ 12.45%
カルチャープラザEki	193,559	151,949	△ 41,610	△ 21.50%
ふれあいプラザ【H26稼働】	—	15,559	15,559	—

ふじスポーツ広場交流センター	12,327	9,220	△ 3,107	△ 25.20%
栗山町民球場管理棟	17,571	14,928	△ 2,643	△ 15.04%
図書館	75,132	80,872	5,740	7.64%
開拓記念館	18,352	8,813	△ 9,539	△ 51.98%
子育て支援センター【H27.8移転】	—	10,526	—	—
児童センター	33,531	22,939	△ 10,592	△ 31.59%
栗山小学校プール	8,106	6,334	△ 1,772	△ 21.86%
スキー場ロッジ【H30閉鎖】	—	—	—	—
消防庁舎	112,241	128,795	16,554	14.75%
角田小学校プール	6,675	4,580	△ 2,095	△ 31.39%
継立小学校プール	0	0	—	—
介護福祉学校学生寮	77,065	62,156	△ 14,909	△ 19.35%
雨煙別体育館	—	—	—	—
環境センター	105,554	68,519	△ 37,035	△ 35.09%
不動産の滝	52	76	24	46.15%
山車倉	360	329	△ 31	△ 8.61%
公用車等・その他	149,961	219,032	△ 69,072	△ 5.89%
合 計	3,426,882	2,973,421	△ 453,461	△ 13.23%

(注1) 給食センターの平成25年度の修正があるが、計画当初の数値とする。

※二酸化炭素の排出量は、各エネルギーに炭素排出係数を乗じて計上しています。

4 取組の内容

(1) 冷暖房温度の適正な管理を行い、燃料の削減を図りました。

(2) 照明時間の短縮を図りました。

ア 昼休みの消灯

イ 不使用個所の消灯（席の不在時に消灯）

ウ ノー残業デーの実施

(3) その他、省エネルギーの取組を実施しました。

ア クールビズ（夏季）・ウォームビズ（冬季）の実施による燃料費の削減

イ 離席時や退庁時の不用電源及びPCモニターのアフ

ウ トイレのエアタオルの使用中止

エ 車両の適正な運用管理、エコドライブの推奨

オ 公用自転車の使用による公用車の抑制

カ ごみ分別の徹底、4R（Reduce/Reuse/Recycle/Refuse）の取組推進

(4) 【独自事業】南部公民館太陽光発電設備の導入

平成28年2月より太陽光発電設備を設置しており、主に施設内電力に活用しています。

平成25年度の基準年度からみると太陽光発電による発電量の全量を施設内消費されています。

◎発電状況

	計	年間使用量
平成 25 年度	【参考】	42,385 KWH
平成 27 年度	1,888.122 KWH	39,272 KWH
平成 28 年度	8,119.379 KWH	34,561 KWH
平成 29 年度	9,507.802 KWH	33,822 KWH
平成 30 年度	9,737.109 KWH	35,240 KWH
令和元年度	9,368.657 KWH	34,447 KWH

※余剰電力については売却していません。

5 計画の点検評価

平成 30 年度に計画した「栗山町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」での温室効果ガスの総排出量は 3,427 t-CO₂（3,426,882 kg-CO₂）で、平成 31（令和元）年度の町の事務・事業に伴い排出された温室効果ガスの総排出量は 2,973 t-CO₂（2,973,421 kg-CO₂）で、基準年度の総排出量と比較して 453 t-CO₂（13.2%）減少し、計画目標である令和 5 年度までに排出削減目標である 2,056 t-CO₂へ 917 t-CO₂（28.5%）となった。

平成 28 年 2 月に設置している南部公民館の太陽光発電設備導入による発電量は約 9,300 KWH で、年間 5,589 kg-CO₂（令和元年度：炭素排出係数 0.601 で試算）の削減となり、令和元年度の全体削減量（453,461 kg-CO₂）の約 1.2%の削減量となっている。

多くの公共施設は、基準年度より温室効果ガスの削減されており、全庁的に取り組んでいる省エネ・節電対策が実を結んだ結果であるものの、主な原因は電気使用量における炭素排出係数（H25：0.678⇒H31：0.601）によるもの及び新型コロナ感染防止対策による公共施設等の利用中止によるものである。

本計画策定以前からも節電や省エネの取組みは行われており、ソフト的な取組みではこれ以上の大幅な削減は難しいと考えられることから、施設や設備更新に合わせた省エネルギー化、低公害や低燃費車の導入などハードによる取組みを検討する必要があります。

併せて、職員一人ひとりが常に省エネルギーの意識を持ち、公共施設や公用車の燃料使用量や施設電気使用量等の削減を地道に行う努力をしていくことが大切です。